THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

逓信省認可

明治二十年七月五日

定價金四錢

女學雜誌

第六十五號

毎月三回發行

績文舍

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

目録

〔女學叢誌〕女學生に告く（前號の續き）●〔中外新報〕十數件●〔學藝一斑〕意想の連環（續稿）●〔列女傳〕露の下をれ（書入）●〔論說〕女子の教育を改良する一法（淸水直義君演說）●歐洲の商業教育（マリシヤル君演說）●〔新作物語〕閨の徹夜燈（書入）●〔雜記〕獨逸帝と少女の話●〔家政要報〕唐糸の騰貴、水油の下落、果物の相塲、西洋料理簡便法●〔御伽草〕數件●〔寄書〕獨語●〔英語獨修〕ナショナル、リーダー直譯

女學叢誌

○女學生に告ぐ（前號の續き）

余輩ハ今茲自ら奮つて學窓の下に雪の朝霜の夕をも厭ハず孜々として螢雪の苦を嘗めらるゝ姉妹等ハ果して如何なる心事目的と有せらるゝかを問ハんと欲するなり勿論歐米の婦人に向て其學と講じ文を學ぶの心事目的を問ハゝ余輩は斷して其罵嘲辱を受くるを知る是れ蓋し其學を講じ文を學ぶの心事目的灼乎として既に明かなればなり然れども今日我が國の如き泯々たる無明無知の陋域を出て始めて郁々たる文華の美域に進入せんとするの巾幗社會に在てハ未だ之を講じ之を學ぶの心事目的明かならざれハ或ハ卿等の志望目的に於て過まりなしとせざるなり是れ余輩か卿等の心事目的を知りたく望み且つ吾人の希望を告んと欲する所以なり

我が敬愛する姉妹よ卿等の學園に在て雪の朝霜の夕をも厭ハず孜々として螢雪の苦を嘗めらるゝの心事目的は果して安くに在るや卿等ハ當時經濟社會に泰斗と仰がれたる英國の寶節德夫人を學ばんと欲する乎將た卿等ハ其昔し政治社會に牛耳を執りたる朗蘭夫人に倣ハんと欲する乎卿等の心事や愛すべく卿等の志望や嘉すべし然れども余輩ハ卿等の爲めに惜しむ所なき能ハざるなり我が國にて婦女子の少しく書を讀み文を解する者ハ忽ち俗世界の外に出で「妾ハ一生良人を持たず書を讀み文を講するを以て一生を終へんのみ」など云へるとハ余輩の間ま聞く所なり素より我か巾幗社會の向後益々進化して大學者大政治家の出でんとハ巾幗の爲め國家の爲め余輩の希望して止まざる所なり然りと雖とも余輩ハ我國今日の巾幗社會に向て之れを希望せざるなり余輩ハ常に我か國婦人の少しく書を讀み文を解する者ハ忽ち俗婦人の仲間を脱し學者を以て自から任せんとするの傾向あるを慨嘆するなり此の如き傾向あるハ即ち我が巾幗社會の文化の程度卑きことを証明する者と云ふ可きなり然りと雖とも是れ決して卿等の罪のみに非ずそ古來我が國文化の巾幗社會に及ばず婦人はなべて無學無識にても纔かに其家內の役目を濟せば離れとて其無學無識を

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

咎むる者なかりし時に方り偶ま婦女子にして學問する者あれバ世間之れを待つに俗婦人を以てせす女學者其人も亦俗婦人を以て自ら居らず超然俗界の外ヽ立たんとするの弊あり然るに一朝無學の封鎖無識の關門を破らんとするの今日に於て僅かに書を讀み文を解すればとて爭でか學者を以て任するとを得べきや且つ卿等ハ人の妻たり母たるの任と以て易々たるとと爲し玉ふにや其身廟堂ヽ立て上 聖天子を輔佐し下億兆を統括する政治家右に歐人に接し左に米人に對し機略秘計を牙籌に決し猗頓の富と奪ふの商賈何れとして安座拱手して之を得べきに非らそ或ハ躓き或ハ仆れ其間千辛万苦を甞めざるべからさるの良人に侍し傍ようこれを慰め之を勵まして失望に陷らしめず一方にハ子女の敎育の任に方り他の一方にハ家政を整理監督し良人をして一意專心外事に從事せしむるが如きハ其任決して易々たらざるなり學問あり才識あり忍耐に富める賢母貞婦にして始めて之を善くするとと得るなり余輩ハ近時文化大に巾幗社會に及び日に月に挾書女子の增加するを欣賀そると同時に亦た余輩の希望を告げざるべからず向後文化愈々進歩して學者政治家の巾幗社會より出でんとハ余輩の切望に堪へざる所なれども余輩ハ卿等が初めよりして朗蘭を學び實節德ヽ倣ハんとするの心事志望を以て螢雪の苦を甞めふれんとするハ卿等の爲め否な國家の爲めに之を希ハざるなり余輩ハ路遠く任重く或ハ躓き或ハ仆るゝ良人の輔佐の任に當り子女を敎育し家政を整理監督するの責に任ずる賢母貞婦たらんとするの心事希望を以て學を修め識を開かれんとを望む余輩ハ卿等の大學者大政治家に爲らんよりハ大學者大政治家を産むの賢母たらんとヽ希望するに堪ざるなり（完）

◎中外新報

◎英國女皇の慶賀式　去月廿一日英國ウインザー離宮に於て行ハせられたる女皇陛下即位五十年の慶賀式にハ歐洲各國の皇族は何れも來會あるべく行幸にハ印度の諸皇族之を護衛し玉ふべしとの事ハ近頃ルートル電報の報ずる處なるが猶ジヨージ第三世の同佳節よりハ一層盛大に行ハせらるべく女皇陛下ハ皇太子ウエルス親王、同王妃并ヽ皇族等の貴紳淑女と共に近衛兵に護衛せられバツキンハム宮を出御ありて鳳輦とハーチントン停車場へ向け御料の滊車にてウインザー離宮へ行幸あらせられて此賀式を行ハせらるべし當日ハ此式を祝さるゝが爲め同離宮近傍より一萬餘人兒童を招せられ宮園に於

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

て盛饗幷に茶菓と賜ひ又當日養老の典を行はせられるの他貧困者等にも盛膳を賜る筈なり猶亦去る廿三日の東京日々新聞に據れば横濱にては去る廿一日英皇即位五十年の慶賀を祝し當日はその前日に引替へ幸に快晴なりしかば內外人の歡び大方ならず居留地英國人は早朝より戶々に數百の球燈と揭げ國旗を交叉せり又横濱の商家にては境町一丁目二丁目は英國の祭旗と球燈を掛けて祝意を表し其他公園地海岸通り本町通りの如きは無數の球燈を列點する等其壯觀實に筆紙に盡し難き程の盛況にてありし倩其模樣を錄すれば正午十二時碇泊の各國軍艦よりは二十一發、英國軍艦よりは五十發の祝砲を放ち午後一時より公園地に於て英國水兵等は撃劍、競走、綱引等の遊戲と日本人は玉乘り藝、足藝、輕業等を交る〳〵演じ餘興には數百の煙火に陸海軍樂隊の奏樂あり園の內外は縱覽人を以て山を爲し消防夫は煙火見張の爲め五十年祭を記したる印半纏を着て扣へ居る等勇ましき事共なりし夜に入ては各所に釣せし數萬の球燈に點火したれば横濱は俄然不夜城となりたるかと怪まる中にも花瓦斯を以てビクトリヤ五十年祭と大書したるは愛でたくも最美はしかりし殊に本町通り五十五番館コッキング商會にては電氣燈を點じたれば其光輝は燦爛として四方を照らし恰も白晝の如くなりき東波止場には數百の煙火を打揚げ碇泊の各國軍艦は前の如く祝砲を發し電氣燈を點ずる等その盛況は實に目を驚す許りにて居留地は晝よりも却て賑はしく到る處立錐の地なきに至れり又山手公會堂の演劇は午後九時より始めて十二時に終り種々の藝を演じて來賓を饗應せられたる由なるが當日の賓客は有栖川、伏見兩宮幷に兩御息所、三條內大臣幷に夫人、伊藤總理大臣、井上外務大臣、松方大藏大臣、山田司法大臣、青木外務次官、野村遞信次官沖神奈川縣知事を始め各國公使幷に夫人等にて皇族大臣は午後十一時の汽車其他は臨時汽車にて歸京せられたり右演劇の後二十二日の午前一時頃より英國水兵等の松明隊の一列は英國海軍倉庫にて整列の上元町通りより前田橋を渡り居留地阿波町通りより海岸通りへ出て西波止場を經て英國領事廳幷に神奈川縣廳の門前に至り英皇萬歲の喊聲を揚げ夫れより舊縣廳跡より境町へ廻り西波止場へ引揚たり爰に可笑き一事あり水兵等が數百の松明を點じて步きしより伊勢山の時鐘撞場所にては火事と見誤りゴン〳〵と非常鐘を撞きしかば他人は眞の火事と思ひしに全く失火にあらずして松明隊の行列をば火事と見誤りし事の分りて港民は漸く安眠に就きたり又當日は

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

山手公會堂、英國領事廳、英國海軍病院幷に五番、三十番等のホテルを始め到る處英人の催しに係る祝宴を開かざるはなく何れも平素交際ある內外の人口を招きて祝杯を傾け歡聲の間に愛たく祝祭を終へしは實に未曾有の盛況なりしと

○華族女學校　同校にては現今華族の女子にして小學年齡を超過したる者の內或は中學科を履修するに堪ざるものありて從來此輩を敎育するの方法なかりしを以て今般別に撰科なる一學科を設け當分の內華族の女子年齡十二歲より十六歲までにして就學を欲する者には本人年育の狀況と其志望とを參酌して一二適當の學課を敎授することに定められたりと云ふ

○職工學校の設立　京都府下の有志者は同府に職工學校を設立して工業を進歩せしめんとて此頃中より同校の設立を謀り居たるが遂に相談一決して其筋へ出願したる由

○獨逸學校　獨逸學協會學校は追々事業の進歩するに隨ひ生徒人員も增加し目下生徒の現員は四百四十餘名の多きに及び敎塲手狹になりたるを以て已に敎塲の增築に着手中の由なるがろの敎師も外國人は六名あれども普通科の外國敎師一名を增員する見込にて目下獨逸國へ牒して招聘中なりと

○茨城婦人協會　茨城縣水戶にては原田、渡瀨、森、矢板、土屋、門奈の諸婦人が發起にて茨城婦人協會と云ふを起し每月一回つゝ會合して談話會を開き又は學士醫師等を招待して講談を聞く仕組なりと

○女子の洋服裁縫學校設立　府下日本橋區通壹丁目の呉服兼洋服裁縫商店白木屋の主人大村和吉郎氏が昨年洋服裁縫店を開業せし以來婦人服の注文續々ありて今は裁縫師の乏しきに困却し居る有樣なればとて同氏は今度同通一丁目に女子洋服裁縫學校を設立して女子の洋服裁縫師を增加するの目的にて昨今右家屋を新築中なりと云ふ

○學校改築　淺草橋際の公立千代田學校は防火線路に當るを以て來二十一年八月を期して改築すべき筈なるが同校々務掛等の發議にて來年まで待たず速かに改築して完全なる校舍になさんとて其議一決し來る八月中に改造すべき見込にて已に區長の見分も相濟たる由

○婦人談話會　去る三日の日曜日には午後第一時より一ツ橋通りの帝國大學講義室に於て開かるゝ東京婦人談話會には辻文部次官を始め、永井久一郎、矢田部良吉、木寺安敎、同會幹事貫名綾子等の諸氏も出席して演說せられたり猶記者も傍聽したればその筆記は追て本誌に揭載することゝなせり

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

◎乳母の試驗　女子敎育論の盛なる今日に於て乳母を抱ゆるに試驗もなくして漠然たるハ歎ハはしきことゝおもひ居りしに其筋にても深く此事と憂慮せらるゝ事と見え乳母ハ子女を敎育するの一具よして殊に躰育法を知らねばならず又衛生上の事も多少心得居らねばならぬものにて實に大切なればとて近々の內右母乳の試驗法を設けらるゝ哉に聞き及べり

◎西村茂樹氏の演述　同氏ハ去二日々本橋區內の各公立小學校の敎員を革屋町常磐小學校に集めて演述せられたり是ハ同氏の發起にて先年設けられたる講道會の規則と改め且更に弘道會と名け廣く會員を募り與よ共に協心戮力して道德を講明し進歩と圖んとの主意にて日本ハ智育躰育ハ多少行ハれ居れども道德ハ封建時代よりも却て退歩しされば舊て之を進めざる可らずと云々と述られしが何れ追て其筆記と揭載すべし

◎女子部設置　牛込區宮比町なる私立開知學社にてハ是迄生徒ハ男子のみなりしが近頃いづれの地も女子敎育の盛なるより同學社にても今度女子部と設け來る七日より愈々授業と始めらるゝ由ろの學科ハ英語、和文、習字、經濟、衛生、理學、編物洋服裁縫等にて授業時間ハ毎日午前九時より正午十二時迄なりと

◎學藝一斑

○意想の連環(アツソシエーシヨン、オフ、アイデア)(續稿)

落日既に西天に沒し暮色將よ合せんとし冷氣颯然として膚と襲ふの際適々高樓に登り遙かに東方を顧みて團々たる淡月の蜿蜒起伏せる巒峰嶄嶂の間より昇るを見ば忽焉として頭に櫻冠を戴き身に直垂衣を着け紳を引き笏を縉さむの殿上人の髣髴我か眼前に現ハれ「天の原ふりさけ見れハ春日なる三笠の山にいてし月かも」と微吟するが如く思ハれ餘音嫋々として何處ともなく輕風と共に吹き來り我れとして坐ろに之れに和吟せしめんとそるの情致あるべし蟋蟀蛩に乱鳴し楓葉漸く紅と染め白煙霜氣夜城を築き滿望漸く東山の頂に出で斗牛の間に徘徊するの際舟と溪流に泛ぶるあらば倏爾として微かに蘇翁の客と扁舟に棹さし盃と引き舷を扣て明月の詩を誦し窈窕の章と歌ふの聲湯々たる溪流の音を乱て聞え我をして覺へず桂棹兮蘭槳○撃二空月一兮泝二流光一○渺々兮予懷○望二美人兮天一方一の章を唱へて以て之に和吟せしめんとするに非ずや赤壁の勝區は數千里外の異鄉に在り仲麿朝臣ハ千百年前の古人なり然るに淡月雲翳を拂つて峯巒嶄嶂の間より出づるを見れ

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

ば坐ろに天の原の名吟を喚起せしむるのみならず戴冠着衣態度風采より其意想感情に至るまで之れを我が心に誘ひ來り其白煙霜氣凛乎として不夜城を築き冴月洋々として山頂に昇るの際扁舟を溪流に泛べなば意想忽焉として蘇翁と赤壁の翠流に訪ひ杯を引き舷を叩き共に明月の詩窈窕の章を唱歌せんとするに至るは是れ所謂る契合識即ち類似律の作用發動に因て然る者なり

凡そ人類の意想情緒は恰も電氣の震動するが如く之を誘ふに類似接近の二物を以てすれば發動して吾人をして變幻測るべからざる境遇に誘ひ白晝街頭に叫呼せしむるにいたる月は總房の山頂に淡く風は品海の津頭に冷かなり淺草寺の鐘聲遠林を渡り四隣人定りて萬籟寂然たるの際北窓破机の前に兀坐し殘燈孤影に對し試みに何物をか以て我が意想情緒を誘ひ忽ちにして或は悦ぶべく或は哀むべく或は樂むべく或は怒るべき千種萬樣の意想情緒紛々然渾々乎として彼に湧き此に起る是れ意想情緒なる者は少しく類似接近せる者の誘導に逢へば直ちに之れが轉遷連合を求めんとするものなればなり慶莚に自ら哭せんとし吊席に獨り笑はんとするに至るとあるは畢竟之が爲めなり

（完）

◎列女傳

〇露の下をれ　（下の三）　竹廼舍壽々女　記

死を決めたる貞女お國も是が此世の別れかと思へば奧に生体なく眠れる吾夫吾が娘に餘所ながらも顏を見て一言別れと告げんものと心ひかれて身を起し今漸々と記き了りし文と片手に二足三足歩み寄りしが稍て暫しなまじい寐顏を見る時は迷ひの種にならふも知れず夫と覺悟と定めし身の未練と起すは何かの障りコリヤ矢ッ張りこのまゝに冥度と急ぐが後の爲と獨語ちつゝ胸に問ひ胸に答へて座に戻り良人の爲め家の爲め盡せ眞實を確乎と封じ込めつゝ傍へなる手箱の上へ置きながら奧に向ひて手を仰かへ御改心のその後は少女の事を幾重にも御面倒と願ひますと臥拜みつゝ亡母が身を護れとし渡されたこの懷劍よ身を果そも皆前の世の約束かと拔放しつゝ改たて佛の御名を二三遍心にとなへて果敢なくも懷劍咽喉に突き立てつ曉き待たで白露の夜半の嵐しに消果しはあはれにも亦殊勝あれ程經て目をば覺したる何某は此の体を見るより驚き嘆けども早や事切れて時刻さへ過ぎたる後の事なればまさ詮術もなきものから母さまノーーと取縋る少女をすかしてしらへ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

て是非もなく〳〵表向ハ急病といひ爲して方の如くに埋葬なし跡懇切に弔ひたる夫や是やの混雜と今ハ子一人父一人外にたよりもなき沈む少女を捨ても出兼て思ひ煩らひゐたるうち同盟なさんと契りにし福岡事件もろの筋の嚴しき詮議に事破れ早くも落城せしのみか關係したる人々ハ夫々捕へられたると傳へ聞きたる何某ハ怪しむばかりに呆れつゝ斯る大事を企だてながら一支へも支へ得ず脆くも一同或ひハ自殺し或ひハ縲紲の恥辱めを受くるといふハ何事ぞ女々しき所業と嘆息をするにつけても亡妻のお國が細々遺書に殘せし順逆理を不理の次第を擧げて天道に背きし擧動に加はるハ家の爲め其身の爲め第一天下の爲ならねば一時ハ約束變がへの謗りを受くるに違ひなきも事定まりし其時ハ永く笑ひを殘さゞるべし況てや常の人にして過ちなきハ稀なるも其過ちと知りし時よく改むるに憚らざれバ誰のハ之を論らはん元より是等にお心のつかざる筈ハこれなきも平生の御氣性とて一旦斯うとお心に思ひ立たれし事についてハ如何にお諫めすとも御承知なきハ長の年お傍に居れば存じ居れり夫そら折にハ心配を致せし事もありつれど开ハ聊かの事なればお心任せに致し置きしも今度の事ハ尋常の譯とも違へば數ならぬ命にかへても御意を致せバ篤と順逆の道理にお心寄せられて御改心を願はしく婦女子の淺き心より嗚呼がましくも先々の事をバヤそ樣なれど此事決して目的を遂げんなどゝハ思ひも依らねど恐らくハ計畫の整はぬ其前に露顯と爲して一同が空しく汚名を殘されんか只幾重にも御思慮の程願はしく存ずると記せし事も其折ハ婦人に入らざる考へ立して可惜命を殞せしよと夫のみ憫然に思ひしに今更思へばなか〳〵に及びもつかざる先見なりきと爰に始めて何某ハ惑ひの夢と全く覺し且つお國が先見の明かなるに耻入りて今ハ猶豫をすべきにあらずと直ちに一時關係せし仕末を書面に認めて自ら之を携へつ我が家の事ハ親戚に頼みて頓て自訴せしところ其筋にても容易ならぬ連累なりとて一旦ハ東京表へ引渡されんとの評議もありしが段々と其關係を調べられしに只約束に止まるのミにて彼の紙幣贋造のことも若しくハ種々の策略等ろの相談にも加はらざる事の趣き判然せしより然らんにハ別段に東京へまで送るにも及ぶまじとの議決にて其まゝ藩主に預けられ追て御沙汰を待つべしと思ひ掛けざる寛典の御所置を受けしに何某ハ是ぞ全く亡妻の計らひに依るものといよ〳〵お國の自殺をば悲しみ慕ひて家に歸り傍ら少女の養育と回向に餘念なき折から其年七月上旬

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

に至り東京よりの御沙汰として僅の謹慎廿日間のいと寛典の處分をば達せられ忽ちに日數も過て今ハハヤ青天を戴ける元の身分となりしにぞまず／＼お國の節義に感じ其ころ某の地方にて勤仕と爲せるお國の實兄松野環かたへ一切の仕末を委しく通知やり只管詫を述し後尙一層親密の交際を求めなどし夫より再び妻を迎へず乳母を抱へで世話とさせ且つ我身の出世をば心掛て怠らざりしに明治六年の五月に至り何某ハ去る人の推擧に依つて武官に登り某の營所へ滯在を命せられしに恰もよし其地ハ少女の伯父にあたるかの松野と同じなれバ我子の爲にも都合よしと頓て同地に赴きて早速環に面會し徃事を語りて當分ハいつも涙にくれた

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

るが斯て月日を移すうち少女も追々成長して日々學校へ通學し勉強をせる程になれバ何某も亦昇級し既に隊長と仰がるゝ身分となりしにお國の兄環ハ兼て何某が妹に義理を立通し不自由とさへ厭はずに後妻を迎へず今以て勤務の外の心づかへと身一ッにして居ると氣の毒に思ふ餘りしば／＼縁談を勸むれども今日斯うして世に出しハ皆亡き妻の賜物なり然るを今更不自由とて後妻を迎へてハ位牌ニ對する顔もなし殊にハ可愛き少女のあるを爭で他人に任されんお心志ハ忝けなけれど此義バかりハお語に從ひ難しと承引せぬに環も是非なく其まゝに打捨置しが段々と出世をするに從つて客の出入屆ひの者も多くなれるといつ迄も他人任せにして置くハ不經濟いふも更なり第一体裁を欠く事の出來んも知れずと心配し或時又も後妻を求めん事を勸めつゝ斯く義理のみを立られてハお家の爲を思ひし妹却つて本意なく思ふ譯ゆゑ枉て承諾あるべしと語を盡して諫しに何某ハ漸くと承知の旨ハ答へしが倘相應しき者なしとて家事ハ從昔召仕ひし家來夫婦に任つゝ餘暇あるごとにハ少女の教育に只管注意して居る由國子が貞操烈義の如きハ蓋し稀なる美談ならんと知る人ありて語りし儘斯ハ數回ニ綴りしが其夫の姓名ハ憚りあれバわざと省きぬ（了）

◎論說

○女子の教育を改良する一法（前號の續き）

清水直義君　演述

借場所と時間と道具ハ出來ましたが爰ニ大困難なるハ費用であります教師も無給で來てくれると云ふことハ出來ませぬ教師と云ふ者ハ重もに貧乏でありますから食ハずに來てくれると云ふことハ出來ませぬ教師の給料其他色々の入用があります其點は如何するかと云ふに其職業時間に致しました職業に依て得たるもの例へは新燧社のマッチ箱を張りた代との或ハハンケチの問屋から持て來た代とか其樣な品物を賣拂ひますとか或ハ賃錢を取りますか又それでなければ進んだ所ハ人の依頼ニ應じて雜巾を縫ふとか或ハ村内の者の着物の破れたるのを縫ふとかして相當の禮を貰ひそれで經費を支拂ふ積りであります然して其餘があれバ割り返す積りでありますが實際餘ハなきか知れませぬ餘があれば總体ニ割り與へても又ハ學校に積んで置ても宜し又若し不足があれハ有志者の保助を仰ぐより外に仕方がありませぬ隨分悲しき身代であります即ち是れが子守學校で御坐ります

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

又小さなものゝ就學しませぬのは子守に使れる所以でありましてそれより少し年を取て居る者の爲にハ子守學校でハ不都合でありますから箇樣なものゝ爲よハ貧女學校が必要と思ひます貧女學校も前の子守學校と大した違ひハありませぬが一應述べませう其場所も前の子守學校と同じでありまそ又色々の道具も其通りでありますから場所や道具抔ハ先づ大抵前の子守學校の物と一緒に用ふる事が出來樣と思ひます而して其時間ハ午後四時半から八時半までと致します則ち子守學校が四時に終りますから四時半からに仕樣と思ひまそ此教授時間ハ二に分ちて一を學科則ち前の子守學校と同じにし其一を職業を執る時間と致しこれも子守と同じに致しまそ又經費も子守學校と同じでありまナ箇樣に致しますと子守學校ハ前にも申した通り經費に困る事があらうと思ひますが貧女學校ハ土地に依て機でも織る所なれば機を織りそれで經費を償ふて行くことが出來樣と思ひます子守學校と貧女學校ハ一所に立て管理すれバ經費の都合が宜しと思ひます私が考へました處でハ女子の教育ハ箇樣にすればどうやら改良が出來樣と思ひます今の子守學校貧女學校に入て教育を受けたものにハ義務を負せても宜し則ち米なり薪なり又ハ金なり自分の出來得べき丈けを何の位か寄附させて宜しと云ふ義務を負ハせるとが出來樣と思ひます初めハ困るでありませうが永き歳月の經る中よハ都合が宜しくならうのと考へます

私ハ前よも申し上ました通り箇樣な場所に臨みまして述べることハ不馴れ所ではありませぬ丸で爲たことがなきゆゑ盡さゞる所があらうと思ひまそ又只今私の述べました所ハ私の小さな腦髓から作り出した所でありますから無論何の役にも立ちますまい此貴重なる總集會の席場を瀆し諸君に對し教育會に對し恐縮に堪へませぬ併し私の述べましたことが日本の教育家の幾分の參考になれば望みの外の幸でありまそ(完)

○歐洲の商業教育(前號の續き)マリシャル君演說

何故商業を盛にするかと云ふに人民の有形上の幸福ハ勿論無形上の幸福を來す者ハ商業であるに依り商業ハ政府で奬勵しなければなりませぬ又奬勵して居るのは現在の有樣で御坐ります又國が富み人民が榮ゆれバ政府の歳入も增加するでありませう政府の歳入ハ商業に依て多くなると云ふ所から考へまそれハ政府ハ商業を奬勵しなければなりませぬ故に今日の政府が商業を奬勵すると云ふことハ諸君に於ても聊か異論ハあるまいと考へます政府が商業を奬勵することと勉むるに付て

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

法律規則を制定し又甲の國より乙の國へ商品を持ち行き乙の國で餘計の關稅を取れバ先方より持て來る者にも餘計なる關稅を取り則ち關稅の戰爭を致して居りまず位なり斯の如く政府ハ商業を奬勵するなれども商業教育を奬勵して居るかと云ふに至りては一の問題であります」此問題が出まするとと私は斷して今日の各國政府は商業教育を勉めぬ則ち小學中學大學の教育には十分盡力されて居りますが商業者の商業教育はありませぬ商業者の智識上の教育と經驗上の教育とには一向盡力して居らぬと云ふ現在の有樣で御坐ります斯の如く商業教育には政府が十分盡力して居らぬ然らば商業教育は特別の奬勵を要するかと云ふに私は斷して外の教育と同樣に特別の奬勵を要すると云はざるを得ず其然る所以ハ商業教育ハ從前から習慣に依て行て居るが今日の商業ハ一國の者に非らず世界萬國の者でありますから一個の學術と云て宜しと思ます然らば政府が特別の奬勵をしなければなりませぬと考ます今日の商業者は徃時の習慣より成立たものでは役に立ませぬ金錢の勘定も帳簿の付方も商品の拵へ方も覺えなければなりませぬ種々の必要がありまする其外商業上に付て各國の間に結ぶ條約又は關稅に關する法律規則等を能く覺えて居らなければな

りませぬ又商業則ち其品ハ何國にて生ずる所の物産なりと云ふことを知らなければなりませぬ又商業法律則ち商法と云ふものと知らなければなりませぬ又經濟學も知らなければなりませぬ商業の取引とする者ハ經濟の考が最も必要であります又海上商業に關する法律又自國の語ハ勿論なり外國の語も知らなければなりませぬ又商業教育に固有のものゝ外にも之が補助となる種々の學問も知らなければなりませぬ此等の學問が御坐りませぬときハ其人は何も出來ませぬから自ら商賣をせずに他人に賴んで商業を致しても監督するとも撿査するとも出來ませぬ斯の如き有樣に至りますから外國と取引をすることも出來ぬ有樣になります其商業上の實驗より成立たこと丈ハやることが出來るが其上進んでやることハ出來ず詰り實驗上より成立て居る商業で己れが見た丈のことの外ハ出來ぬと云ふことになります」右の如き學術則ち理論に關することを知なければ進むことの出來ぬと云ふことハ明白でありますが論者ありて商業ハ貴樣の云ふ樣にして覺えるものにあらず實際に據て覺えるものであると申ます依て此論者に向て貴君の云ふ通り實際でやりませうと云ふても不都合がある例ば簿記とか又ハ計算とか又ハ商業上の往復とするとハ覺えるであ

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

りませうが此等の事を都て覺えますゝには餘程能く組織の出來て居る第一等の商業者の家に居らなければなりませず其中にて一部の事と充分に磨くにハ一個の商業家でハ出來ませぬ數多の店に居て數十年丁稚子僧にならなければ覺えませぬ斯の如き實際から覺えると致した所が最初ハ教師と云ふ者がなければなりませぬ學校で云ふ教師でなく共實際の教師が必要と云ふとハ明かでわります商業學校にて商業者と仕立るにハ六ケ月位で理論の方ハ全く覺えるから第一に實際から成立た商業者より見れば實際の上に學術が備り學術と實験と兩方を知るにハ學校の教育に據ふなければなりませぬ學術ハ今日必要であると云ふとハ明かであります然ども又論者あり成程左か云ふ理窟もあらうが試みに商業者を視が宜し數萬の富と為して居る商業者ハ學門から成立たものならずと然れ共論者の云が如き商業者ハ自分が學問がなくて金を儲けたのでハありませぬ他の學問のある者を使て儲けたのでありませう若しさうでなくして自身で金を儲けた者があればそれハ間違て富を得た者と謂より外ハありませぬ商業者の經験と云ふとハ　私も別段異論ハありませぬ商業ハ經験より成立ものに相違ありませぬが經験と學問とハ別のものでありませぬ　（未完）

◎新作物語

○閨の徹夜燈　第二篇　南翠外史　述

○二人の少年二人の少女（三）

其の次の夜ハお覺が殊の外待わびしき風情なれば疾く語らめと思ひて常よりハ早く臥し昨夜の後をぞ語り繼ぎぬ

凡そ男女相懐ふの情ハ其の淵源中々に深く且つ遠きものにして染る色なきしら糸の子心にも「彼の人ハ吾れに親切なり故に吾れも彼の人に酬ゆるに親切を以てせざる可からず」「某ハ我が好む所を好めり我が好む所を好むハ意氣の相近ければなり故に某ハ我が最愛の友なり」などいへる感情ハあり得べき事實にして一概に淫慾の娛樂を頒つものをのミ相愛し相親しむ情人とハ言ふべからざるものぞかし庭の教えの鈍き男女ハ情慾と徳理性との權衡を失ひ易く肉體の慾にのミ汲々して無限の情味ハ嘗て舌にだも觸しとなきが故に淫慾を以て娛樂の最大なるものとハすなり教えの功しハ此處に在りて苟にも學びの道を進みたる男女ハ情慾の深く且つ熾んなると前者に優る數等なれども徳義と道理との精神も常に情慾の深く且つ熾んなる程づゝ厚きものなれば形而上の肉交を制して形而下の

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

情交を尚ぶの念深し偶には地位貴く徳理性深き人にして閨門治らず醜聲の帳を漏る〻事なきにしもあらざれども是れ等は所謂取除の部類に属する者と心得べし況て婦人は懐ひ深きものにして口へ出し色に顯はさゞる代りには思ひ一たび内に入りては其の摸型の漸を逐て緻密に宏大に造らる〻かは知らねども男子の如く發して其の寫眞を失ふが如きとはなき者なるが故に徳情二心の平均を測るに務めて意を情交にのみ注がん事の大切に最も要用であるといふ事を記臆せよ

熱田清菴が長子清一郎といへるは天性製圖の才あるにや測量の業に巧みにして其の前海軍兵學校へ入りてより益々其の業の妙を極め卒業の後は匠師となり今はまゝ呉港鎮守府の土木を勘査する爲めに出張する身となりしかバ二十年に充ぬ妻のお繁に獨り留主を委ねて尚は青年なる舍弟禮二郎と〻もに置んは心に安んせずと了得に老人の注意には綿密にて出立の日を境に彼の家と望める人に貸與へ道具器物は藏める方に預けて嫁と二男の衣類手道具の如きものをのみ取纒め根岸の家の狹からねば諸てそ此處には呼迎へ伴ひ來しなれ

人には種々の長技あるものにて禮二郎の心態は兩親孰れの感情に化成せられけん誠に温厚にして賑しきを嫌ひ靜默にして容易く人に交はるを厭ふ童子だちより苟にも人爭ひたる事なく友を擇むの才はありながら兎角に新しき事物に染ず本讀めばとて古事を調べ雜書を渉獵り歌を愛し俳諧狂歌には耽れども詩には餘り心なきが如しかゝる性質なれバ茶道盆石などには心を籠めまた近頃は土佐繪の古雅なるを愛して或る師を求め丹靑文彩に精を勵しけるが好く道とて忽ちに上達し畵を鬻いで餘財を蓄ふるまでに至りけれバ根岸に來りてよりは猶更靜閑を喜びて或る方ざまより賴まれける太平記の圖を繪かんとして先づ伊賀の局が圖を概略描き上げたる所へお敏は例の馴々しく物怜悧しき者とて不遠慮に入り來り

お敏　オヤ〳〵マア美事な畵がお出來に成りましたねヱ是れアノ伊賀の局の圖でございませう

禮二郎は取別け婦人には親しからぬ者とて最と冷淡に

左様太平記の文から取りて寫したのです

お敏は其の語氣の穩かならぬに瞳子の自然と其の未熟なる聲を發したる脣に注げば朱と染し稍や薄き口元の愛らしきに鼻は非常に隆くもあらぬが兩眼の冷かにして瑠璃を欺く瞳子に水を含みしが如く眉毛は頭毛と〻もに少しく薄けれども誠に愛らしき形を造りぬ多分にはあらねども細面にして色は蒼み

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

を帯るかと疑がふまでに純白なり身體も夫に順じて優形に衣紋つきも甚だ宜しく総ずるに優しく愛らしきといふ方の好男子なりければ未だ春遠きお敏が心にも「寔に可愛らしき殿振なるよ惜むべきハ文明世界の禮節を知し召さぬと見えたり是れにて今少しく勇氣あらバ如何愛すべく敬ふべき好男子なるべきか」といへる感覺を生じぬ

お敏　貴所ハアノ土佐家とやら申す書風で被爲入いますゝ

禮二郎ハ少しく面を和げて

お敏さんハ大層書がお精しいと見えますヿ土佐なぞと言つても御存じのないお娘さんが多い中で、何うも恐れ入つた御發明だ、貴女も書とお習ひなすつたのですか、賴母しい

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

お敏　イ、エ妾は畫は知りませんけれども宅に斯いふ繪が澤山事ありまその皆な土佐家だと申しますから

禮二郎　成程海野さんは依舊家だから隨分に美事な結構な物を御所藏でございませう何うの折があつたら御所藏の幅丈けでも拜見として置きたいものでございます

お敏　今に此方は寮へ送つて蟲干と致しまそから其の時は御覽遊ばしませ、夫は爾うと貴所此の伊賀の局といふ人は實に強い婦人でございませう、貴所は斯いふ強い婦人が今で日本に澤山出來れば宜いと覺召しますか

禮二郎　左樣さねエ先づ日本で女丈夫といへば神功后宮に巴御前板額女伊賀局なぞとヤア指を折りますが是等の婦人は男優りの氣性と力とは有りましたらうが御治世に生れて來たら此れ程に尊ぶ婦人でも有りませんでせう

お敏は例の穎敏なる眦に郎の方をヂッと見つるが此の一顧斷の内には愛憐と嘲笑との意味を含みたり

母のお福美は我が子の顏をうち目戍て「是かふお話しが混交て來て面白くなるがチお前は唯だ面白いばかりで迂濶に聽ては困りますョ」と物語るうち時計は既に十一時を報じ去りければ母子常の如く枕を並べて安らかにぞ臥したりける

◎雜記

○獨逸帝と少女の話

墺地利國のカスタチンは有名の溫泉塲にして浴客常に絶間なく旅館の數も最と多き所なるが今より六年前の事とかや獨逸の老帝は入俗の爲め此所に來らせ玉ひストロービンゲルブラッツの旅館を行在所として御滯在なりしとき閑向ひなる旅館に滯在する一人の少女あり名をフローレインケルンと呼び或仕立屋の娘にして傾國の姿色あるにはあらざれども性質怜悧なるが上よ敎育も能く行屆きたるものと覺しく人に接して禮儀正しく活潑にして殊に愛嬌溢るゝが如き容貌は亦自ら棄て難き乙女なれバ帝は憐れとや思召れけん不圖垣間越よ見玉ひてより深く愛し玉ひ夫より後は御旅館の窓より此少女を見るを以て旅中の樂みとおし玉ひ又御遊歩の折に出逢ひ玉ふ時は常よ詞を賜はるを以て果ては少女も馴れ親みて來年も亦行幸あれ妾も是非共再び御目にかゝるべし抔と申上げたりしが一日帝は例の如く窓に倚りて外と眺め玉ふよケルンの見めざりければ帝は早速待從もてその安否を問はしめしにケルンは在所に歸りて今は旅館に居らずとの事なりしがその後帝は此所

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

に行幸ある毎にケルンやあると尋ね玉ひ約束の事抔思ひ出されて常に忘れさせ玉はざりしが其後物換り星移り昨年の冬となりケルンハ同國モラヴヰャ州イグローのヘルキリャンと云へる商人と結婚する事と爲り猶太宗の寺院に於て婚姻の式と執行したり其時獨逸皇帝より新婦の許へ贈物の達したるにより開き視れば中にハ金剛石にて飾りたる立派の腕飾と帝室の徽章ある箱一箇ありて是れハ老帝親ら撰擇し玉ひたる腕飾なれば婚儀執行のとき用ふべしと侍從長よりの書面さへ附き居たればハ見る者驚かざるハなかりしとのや偖事の由を尋ぬるよ昔ケルンは過つる年皇帝と親しく物言ひ交し參らせしとき妾が結婚する時ハ必ず陛下へ其由を告げ參らすべしと約し置きたるをもて昨冬の結婚約を爲すに至り此事を手紙もて聞え上げたるにより斯く立派なる贈物を賜りたるものなりと

◎家政要報

○唐糸の騰貴　唐糸ハ昨今二三割方も騰貴し猶益々上騰の勢ひなり其原因ハ昨年來各地方機元にて夏物の製造を差扣へたるに本年の季節に至り思ひの外捌方活潑にして品物拂底の處輸入品ハなく内地の需用益々増加するに由るなりと

○水油の下落　水油は新種搾取以來相替らず肥料用の氣配善かりしを以て製造家ハ〆粕に望を屬して益々搾取しかば目下非常に品多きに付新種試み搾頃の相場に比すれば伊勢油にて十樽に付三圓方も下落したり又大坂ハ常に安直を起さゞる氣配の場所なれども矢張荷嵩ゞの爲め伊勢に比して猶六十錢方に割安なり當業者の見込にてハ今後肥料の下落せざる間ハ〆粕に望を屬するの念止まざるべけれど水油ハ到底安氣配を免かれざるべしと云へり

○果物の相場　神田多町の仕切相場を聞くに梅ハ本年ハ大外れにて價も昨年より一倍の騰貴なり一樽上物一圓より下等三十錢位地廻りは五十錢位○枇杷ハ重に房州より出づ上等一樽六十錢下等廿錢位なるが房州産のものは既に出盡し此の先きハ川越又ハ千住在より出づ是ハタバ賣にて一タバ二錢五厘より一錢位○杏子も房州より出で上物一圓より下等四十錢最下等は二十錢位なり地回りのものは稍々太く一箇一錢以上○桃ハ流山在より多く出で上物一樽四十錢より下等十五錢位○李も流山より多く出で一箱三十五錢より十錢まで是も地廻りハ高直上等百個に付き廿五錢より下等三錢位迄なり

○西洋料理の簡便法

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎羮汁　羮汁の元は先づ肉と骨を微塵に叩き水のみにて徐に焚め煎りまるまで蓋を爲し出來上りて一日と過ぎ食用ゟ供すべし若し油の上に浮ぶときは取り去るべし又羮汁の沸騰するまで鹽を用ゆべからず然らざれば肉絲を硬くなして汁の出ると少なし●鷄の羮汁　先づ鷄の腹胃と去り腹肉を洗ひて細かに切り鍋に入れ水と充分にし柔かに煎つめ二三合程米を入れ能く羮沸若し鍋の水煎つまるときは熱湯と注ぎ全く羮ゑたるとき鹽及び胡椒少し許りと交せ食臺に供すべし又肉を汁とを別の皿に盛りて出すも宜し●牛肉羮汁　牛肉二斤程を鍋に入て水を充て汁の肉より出るまで凡そ一時間或は一時間半程煎つめ芋少しを入れて程よき頃に取り出し細に切り鹽及び胡椒少しを入れ五分間過て下ろし深き皿或は鉢に盛りて食臺に供す尤も芋は各人の望に依て用ふる事と知るべし(以下次號)

◎御伽草

○數學問題

長さ一丈六尺幅八寸の木綿あり今此木綿を一倍の長さに成さんとするときは幅幾何なるや(東京新富町林二木出題)

○考もの〻題

左の歌はさる人の櫻花を觀て詠めるものなるが處々脱字あれば「地理學上の名一つ、樂器一つ、樹木一つ」にてお塡めあらんことを乞ふ(佐賀縣思案生出題)

世のな○○うつりかわれど年○○にお○○さくらの色を見るか那

○六十二號數學問題答式

(甲) $360 \div \frac{1}{32} = 11.25$ 答十一度十五分(答者)東京築地貳丁目上野朝、長崎港濱町滝子、仙台宮田貞子、高知梅田樟雄、千葉縣千葉吾妻町淸水春子

(乙) $(6 \times 7) \div 2 = 21$ 答二十一日(答者)仙台宮田貞子、東京築地貳丁目上野朝、千葉縣千葉吾妻町淸水春子、三重縣伊勢國安濃津永峯錦水、同所伊藤よし

○六十貳號考物の答

源義家雁の乱飛するを見て伏勢あるを知るところ(答者)長崎港濱町滝子、東京築地上野朝、東京麹町五丁目梅田琴、愛知縣名古屋武平町熱田よね、同所熱田德

◎寄書

○獨語(前號の續き)

此等は皆詩の佳境にて和歌も又此意なり古の好き歌は一度聞かば則ち耳に止まりて忘れずその意も人の解説を待ずして知らる假初に吟する時は左のこともしき事もなき樣にて諷詠玩味それは限なき興致あり今の人の歌は詞むづかしくして再三きくとも耳を過ぐれば則ち忘れ人の解説を聞てもその意通じ難し歌の善悪是にても知るべし古人の詩は必ず實境に對し實

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

事ありて隨興より出る故に其意皆實なり後世の詩は題を設けて作る故にころの意多くは虚僞なり是を無病呻吟と云ふ和歌も古人は皆實意なり後世は題を設けて詠む故に多くは虚飾なりさらしらんしらけたる夜の月かげに雪ふみ分けて梅の花をると云ふ歌ころ最とも面白けれ實境に對してよめる歌は斯の如く纔かに唱出せば則ち其時の事を思ひ像る和歌の妙なり天地を動し鬼神を感せしむる事此境にあり今の歌は然らず

茶道　近き世に人の翫ぶ茶の道ころ最心得ぬわざなれ器は舊を求むるにあらず只新をすと尚書に云へるに今の茶人は幾年を經たりとも知れぬ古き茶碗の汚穢くして然もかげそんじたるを漆などにて繕ひて用ゆ穢しさ云ふばかりなし朝鮮國の人常に用ゆる唾壺の古きを求めて抹茶を貯へて是を茶入と云ふ之も穢し竹篦を撓て匙として茶と掬ふものとす之を茶杓と云ふ人に茶を呑ますするには先づ圍とて一間なる狹き所に集りて喰物も人によそはする事なく自らもり喰ひ酒も自ら酌み呑で其器も手づから洗ひ拭て撤す點心喰て後出て口洒で入る主自ら茶を點し客人に奉ずれば一の茶碗に點したる茶を上座の人飲で次の人に傳ふ次の人も少し飲で傳ふ三人にても五人にても次第に飲で末座の人殘りなく飲で上座に投く上座の人取て仔細に視て珍器なる事を稱譽す又次に傳ふ是も又仔細に視て傳て末座に至る末座の人見終りて主え歸し客人一同に謝詞を致して頓首そ次に茶碗の袋を見次に茶入を乞ひ見茶入の袋を見次に茶杓を見る見るべき程の珍器にあらずとも乞ふて見ると禮とす爐の炭を置くも仔細あり譽へは主の炭を置をば客人差寄て之とほめ瓶に花をさせば譽む大方何事も主の爲す事と見てはめずと云ふ事なく諂諛の至りと謂ふべし（以下次號）

英語獨修

ニユー、ナシヨナル、リーダー直譯

〔第廿六節〕㊀悪しき㊁子供だ㊂悪しき㊃子供だ●㊀其れの㊁樹㊂から㊃下㊄れ●㊀巣㊁から㊂卵を㊃取り㊄爲す㊅勿れ●㊀鳥㊁の㊂卵を㊃取る㊄可く㊅如何に㊆悪しき㊇子供（よ）●㊀去り㊁行け㊂悪しき㊃子供●㊀卵と㊁取り㊂爲す㊃勿れ㊄而して㊅直に㊆其處に㊇巣の㊈中に㊉三羽の(十一)美しき(十二)鳥が(十三)在るで(十四)あらう

NEW NATIONAL FIRST READER.

Lesson XXVI.

バツド　ボーイ　バツド　ボーイ　カム　ダウン　フローム　ザツト　トリー
Bad boy! bad boy! come down from that tree.
㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊃ ㊄ ㊂ ㊀ ㊁

ヅー　ナツト　テーク　ゼー　エツグス　フローム　ゼー　子スト　ホワツト　エ　バツド
Do not take the eggs from the nest. What a bad
㊄ ㊅ ㊃ ㊂ ㊁ ㊀ ㊅ ㊆

ボーイ　ツー　テーク　ゼー　エツグス　オフ　エ　バード　ゴー　エウエー　バツド
boy, to take the eggs of a bird! Go away, bad
㊇ ㊄ ㊃ ㊂ ㊁ ㊀ ㊁ ㊀ ㊂

ボーイ　ヅー　ナツト　テーク　ゼー　エツグス　エンド　スーン　ゼーア　ウイル　ビー
boy; do not take the eggs and soon there will be
㊃ ㊂ ㊃ ㊁ ㊀ ㊄ ㊅ ㊆ (十四) (十三)

スリー　プレツテーイ　バーヅ　イン　ゼー　子スト
three pretty birds in the nest.
㊉ (十一) (十二) ㊈ ㊇

三百七十九

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

遞信省認可

廣告

おしらせ ●つきに三くわい 一のひ うりだし

●はやがくもん かなのしんぶん 一がう 八ぐわつ一にち うりだし

●一まい一せん五りん●十まいまへきん十三せん●いろはぐみにいりたるひとは十まい十二せん●えんぽうは一まいにつき一せんのゆうびんぜいをそへおくるべし

このたびおほさかに いろはぐみと いふものを まうけて かなのくわいの しゆいを ひろめんがために まいつき 三どづゝ はやがくもんかなのしんぶんと なづくるものを すりいだして ひろく よに ひろめんと するにつゐては つきに いちどづゝ うた はつく などを あつめて これとふろくにす りたてゝ しんぶんにそへて むだいかにて しんせうす なほ こういちのひとへは いろはぐみの しるしのいりたる べつせいの びれいなる まきを さしあげまうすべければなにとぞ きそふて ごにうく あらんことをこふ

●かなのしんぶん だい一がう ふろく べつずり

●わ の　いなづま　しのぶこひ

●きやうの　おどり　ちぎるこひ

●はいかい　つきみ　きく　むし（月見、菊、虫）

●せんりう　い　と　ろん　はな（糸、論、花）

●かさづけ　のちのため　とける　ものになる

みぎいづれも 一だい二くづゝのこと ●えいろうは なるべく かなにて わかりやすく したゝめるべし●えいそうには じぶんの くにところ ばんち なまへ はいめいを くはしく したゝめ おくるべし●にうしきは いつさい いらず ●ようくしたるものは かならず しんぶんを からのぎむ わるものとす●しめきり七ぐわつ十五にち

なげこみどころ

おほさか ひがしく きたしんまち にちやうめ はねやまちのど

いろはぐみかりじむしよ

みなみく さんきう ばじうなきだに みなみみへ いる

をなじく

うめむらひこしち

告

本誌代價前金相切れ候ときハ 帶封を朱書 に致して御送附中上候に付其節ハ早速御送金被下度候也

積文舍會計掛啓白

本誌代價表		
壹冊	正價金四錢	此郵税壹錢
拾冊	同金三拾八錢	同拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同四拾錢

但シ東京十五區内郵税不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ雜誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必ず代價郵税共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵券代用ハ壹錢切手にて一割増し●郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み共爲替券と本舍へ御送附可被下候 但し東京十五區内ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所 東京々橋區南鍋町貳丁目拾壹番地 積文舍

持主 松本義弘
編輯人 原口令成
印刷人 初鹿野錦五郎

東京芝區愛宕町一丁目三番地 大賣捌所 修正堂
同 神田區淡路町 同 繍々堂

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY